

第7回

平成30年10月12日

特許調査

知財情報の活用

報告書①

30年度【知的財産法】杉山 務

なぜ先行技術調査が必要か

発明を創造する

発明を特許権とする(発明の保護)

特許権とは、独占的に発明を実施する権利

実施により利益を上げる(発明の利用)

上げた利益を研究開発の資金として次の発明を創造(発明の奨励)

企業の発展, 国際競争力の向上

1

30年度【知的財産法】杉山 務

知財経営の特許調査

基礎技術開発

類似特許がない

市場リード
マーケットコントロール
の可能性大

技術開発
基礎発明・改良発明
特許出願

特許調査

類似特許多数あり

高い利益率の確保困難
クロスライセンス
事業撤退

2

30年度【知的財産法】杉山 務

特許情報の活用

研究開発

技術動向調査

発明創出

設計

製造前

出荷前

出願前調査

他社権利調査

侵害警告

公知例調査

◎重複研究の回避＝過去の存在技術、今後開発すべき技術の把握

◎発明の手がかり＝他人を知ることで、新たなアイデアを見いだす(特許のすきまを埋める、代替技術)

◎技術変化、商品需要予測

◎無駄な出願の防止

◎明細書作成の参考

◎従来技術の正確な把握

◎他社権利との抵触関係調査

＝出荷差し止め、損害賠償の未然防止

◎他社からの技術導入・提携の検討

◎権利の阻止＝他社権利の出願前の公知例を調査(特許文献、雑誌・カタログ等)

3

30年度【知的財産法】杉山 務

文字の大きさ [小](#) [中](#) [大](#)
[English](#) | [投書箱 \(ご意見・ご要望\)](#) | [ホームページの使い方](#) | [アクセスマップ](#)
 Google Custom Search [用語解説](#) [マイページ](#)

[ホーム](#) | [お知らせ](#) | [制度・手続](#) | [施策・支援情報](#) | [資料・統計](#) | [特許庁について](#) | [お問い合わせ Q&A](#)

重要なお知らせ | [平成30年北海道胆振東部地震により影響を受けた手続の取り扱いについて](#)

重要なお知らせ | [特定非常災害特別措置法第3条第3項に基づく平成30年7月豪雨により影響を受けた手続期間の延長について](#)

重要なお知らせ | [大阪府北部を震源とする地震により影響を受けた手続の取り扱いについて](#)

サイト内検索

Google Custom Search

例：出願の手続き、知的財産権制度

よく検索されるワード

[早期審査](#) | [審査基準](#) | [期間延長](#) | [減免](#)

[PPH](#) | [逐条解説](#) | [料金](#)

注目情報


特許情報プラットフォーム

STARTUPS知財

[産業財産権関係料金一覧](#)

[特許検索ポータルサイト](#)

4

30年度【知的財産法】杉山 務

https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage

 ヘルプデスク (9:00-21:00) [English](#) | [トップページ](#) | [ヘルプ一覧](#) | [サイトマップ](#) | [JPO](#) | [INPIT](#)
 03-6666-8801 | helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp | 独立行政法人 工業所有権情報・研修館
 特許情報プラットフォーム | National Center for Industrial Property Information and Training

[特許・実用新案](#) | [意匠](#) | [商標](#) | [審判](#) | [経過情報](#)

- 1.特許・実用新案番号照会
- 2.特許・実用新案テキスト検索
- 3.特許・実用新案分類検索
- 4.パテントマップガイダンス (PMGS)
- 5.外国公報DB
- 6.審査書類情報照会
- 7.コンピュータソフトウェアデータベース (CSDB) 検索
- 8.ファン・ポータル・ドキュメント (OPD) 照会
- 9.中韓文献番号照会 (特許庁関連サイトへ)
- 10.中韓文献テキスト検索 (特許庁関連サイトへ)

商標の簡易検索 [ヘルプ](#)

キーワードを入力して簡易検索ができます。
 場合は、上部各サービス (ナビゲーション部分) をご利用ください。

例) 特許 アイコン

お知らせ

[スノート](#) | [予定一覧](#) | [更新履歴](#) | [リリース](#)

メニュー | 2016/8/23 [審査書類情報照会及びファン・ポータル・ドキュメント照会利用不可時間変更について](#)

募集 | 2016/8/19 [J-PlatPat講習会 \(那覇\) 募集!](#)

おすすめ

[公報発行予定表](#)

[文献蓄積情報](#)

[関連HPリンク](#)

[FAQ](#)

アンケートにご協力ください


 商標登録公報検索支援ツール

5

30年度【知的財産法】杉山 務

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there is a header with contact information and navigation links. Below that is a blue navigation bar with icons for '特許・実用新案', '意匠', '商標', '審判', and '経過情報'. The main content area is titled '特許・実用新案検索' and includes a search input field, a '選択入力' button, and a '登録日ありで絞り込み' section with radio buttons for 'はい' and 'いいえ'. Under the '種別' (Category) section, '国内' (Domestic) is selected, and '特許(特開・特表(A)、再公表(A1)、特公・特許(B))' is checked. The search results section shows '国内文献ヒット件数 24件' (24 domestic document hits).

6

30年度【知的財産法】杉山 務

検索手順

- 1 特許庁HPIにアクセス
 - (1) J-PlatPatを選択クリック
- 2 J-PlatPat 特許情報プラトホーム
 - (1) 特許・実用新案を選択
 - (2) プルダウンメニューから「2特許実用新案検索」を選択クリック
- 3 選択入力タブ
 - (1) スクロールして「検索キーワード」で検索用語を入力
 - (2) 検索項目はそのままでも「請求の範囲」としてもよい
 - (3) 検索キーワード欄に「照明 器具 卓上」をスペースで区切り入力
 - (4) 検索方式はANDに変更する。
 - (5) 検索をクリック
 - (6) 国内文献ヒット件数 24件
 - (7) 表示オプションで登録優先を選択
 - (8) 一覧表示をクリック
- 4 検索結果一覧画面
 - (1) 文献番号欄の特許6212779をクリック
- 5 選択された文献画面 この画面から
 - (1) 経過情報をクリック
- 6 経過情報画面 で出願情報タブ、登録情報タブにより状況確認
登録料納付3年分が平29.8.29にされ、平29.9.29 に登録され、平29.10.10に特許証が公布され、公報が平29.10.18(2017.10.18)に発行されている。
- 7 選択された文献画面 から、PDF表示を選択し公報を見ることができる。

7

30年度【知的財産法】杉山 務

知財調査課題

「J-Plat Pat」を利用して特許文献を調査し、現時点で権利が有効なもの1件について、A4用紙1枚に報告書としてまとめ、提出のこと

テーマは限定しないので、現在市販されている商品に限らず、各自が興味を持った商品について調査報告すること

報告書には、特許発明の内容と、特許番号の記載に加え、所感を含めること

提出期限: 10月25日(木)

提出方法: Web利用(未定)

10

30年度【知的財産法】杉山 務

ま と め

ご清聴 ありがとうございました

8回(17日:水)は、特許審判とはどういうものか。

11

30年度【知的財産法】杉山 務

報告書について

平成 30 年 9 月 28 日

I 小レポート A5判 全10通 3, 5, 8, 11, 14, 16, 18, 21, 26, 28回

- ① 授業終了後に提出
- ② 黒のボールペンを使用し、鉛筆の痕跡は不可
- ③ 問1～3について、空欄に収まるように、文字の大きさを工夫し解答する
- ④ 授業の注目した1点についてどう感じたか、そしてその理由を記載する。
- ⑤ 感想や要望、疑問を感じたことを記載 ※評価は3段階全20%

II 報告書 A4判 全2通 特許7回目、商標23回目 ※評価は2回10%

A 形式

- 1 全体に見易さに重点を置く。
- 2 提出日と、学籍番号・名前は右寄せ
- 3 フォントは10.5～12ポイントで、原則明朝体であること。
- 4 報告書では奇を衒う必要はなく、淡々と仕上げる。
- 5 印刷した後に、全体を見て、読んで確認
- 6 段落後は、1文字空ける。
- 7 左右にとじ代を設ける。

B 内容

- 1 現在の状況は、特許になっていれば、特許番号のみ記載
- 2 先行文献等は、2件まででそれ以上ある場合は、「外○件」で表示
- 3 現在の登録料金納付状況は、3年以降は1年分の納付が可能だから、現在の納付による権利期間と、最長の場合とを併記。納付日や作成日等は情報として不要
- 4 有用な情報と、不要な情報を判断することが望ましい。
- 5 口語より文章語での表現に努める。
- 6 具体的に記載すること。単に「特許になっている」ではなく、特許番号を示す。
- 7 特許請求の範囲のコピーではなく、発明の内容を理解できるように要約する。
- 8 審査請求の「未請求」は、公報発行時点における状態で、特許になっているときは審査請求がなされており、矛盾が生じる。

III その他

- 1 書面による提出は、教員が手にしたときに、即座に表面を確認できるように、提出の表裏と向きを考慮する。
- 2 電子データの場合は、ファイル名とタイトルに氏名を加える。